

令和7年度

姫路市商工会

経営発達支援計画

事業評価書

評価委員会実施日：令和8年2月4日

# 1. 地域の経済動向調査に関すること

## 【実施した事業内容】

### ①調査計画の策定

- ・指導先 50 社への聞き取り調査を職員が分担して行った。

### ②調査の実施

- ・全国商工会連合会が四半期毎に行う「小規模企業景気動向調査」8 社／四半期
- ・姫路市商工会が独自に選定した指導先「地域経済景気調査」50 社／四半期

### ③集計・データ化

- ・調査に基づき、独自の報告書を作成。

参考データ：月例経済報告(内閣府)、中小企業景況調査データ（全国商工会連合会）  
 独立行政法人 労働政策研究・研修機構報告書  
 当会管内雇用情勢（ハローワーク姫路）

### ④集計データの公表

- ・姫路市商工会 WEB サイト (<https://himeji-shoko.jp/>) にて公開

## 【当初の目標・実績】

	R7 年度 目標	12 月末 実績	今年度予定	達成率 (年度末見込)
①地域の経済動向分析の公表回数	1 回	3 回	4 回	300% (400%)
②景気動向分析の公表回数	4 回	3 回	4 回	75% (100%)
兵庫県の動向調査	1 回	3 回	4 回	300% (400%)

上記 3 調査全てに横断する項目を設けた調査書を作成。

それを用いて、四半期ごとに当会指導先 50 社（内訳：サービス業 12 社、製造業 11 社、卸小売業 15 社、建設業 12 社）を対象に調査を実施した。調査に基づいて、全国・兵庫県・当会管内の比較を施した景気動向調査報告書を作成し、当会 WEB サイトにて公開。

令和 7 年度は、4 月・7 月・10 月・1 月に調査を実施し、6 月・9 月・12 月・(3 月・予定) に報告書を公開した。

## 【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	景気動向調査や分析の公表は、概ね計画通りか目標を上回る成果を収めています。独自の調査や四半期ごとの公表体制も定着しており、今後は蓄積されたデータを事業者の経営課題解決や、事業計画策定時の参考資料として積極的に活用していくことが期待されます。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%	B：達成率 70～89%	C：達成率 40～69%	D：達成率 1～39%	E：未着手 0%

## 2. 需要動向調査に関すること

### 【実施した事業の内容】

#### (1) 情報収集

##### ①バーチャル展示会 2025 (※1) での国際フロンティア産業メッセ出展

- ・バーチャル展示会事業の一環として、令和7年9月4日(木)、5日(金)に国際フロンティア産業メッセへの出展支援および来場者へのアンケート調査を行った。

調査・商談等対象事業者：78社(事業者からの聞き取りによる)

バーチャル展示会サイト閲覧：3,731件(R7.12.31現在)

##### ※1. 姫路市商工会が運営するWebサイト上で、事業所間の商談促進を行う事業

令和7年度は、オンラインでの展示会に加え対面展示会への出展支援を実施  
過年度とは異なりOMO(Online Merges with Offline)戦略をイメージし

先行してサイトを開設し、閲覧者が来場した際の特典を設ける等の工夫を施した

##### ※2. 会場：神戸国際展示場 来場者数：14,700名

- ・調査項目は、知名度、関心度、関心がある理由等
- ・国際フロンティアメッセ出展事業者：株式会社PEANUTS

##### ②大阪インターナショナルギフトショー

(<https://www.giftshow.co.jp/osakagiftshow/67oigs/>)

開催日：令和7年9月18日(木)、19日(金)

会場：OMMビル(大阪・天満橋)

来場：11,788名(大阪インターナショナルギフトショー2025実績より)

出展事業者：2社((株)香寺ハーブ・ガーデン、(有)戎水産)

調査・商談等対象事業者：350社(事業者からの聞き取りによる)

##### ③FOODSTYLE JAPAN<関西>2026出展

FOODSTYLE JAPAN<関西>2026出展(<https://foodstyle.jp/kansai/>)

開催日：令和8年1月28日(水)、29日(木)

会場：インテックス大阪1・2号館

来場見込：23,801名(FOODSTYLE Kansai2025実績より)速報値24,487名

出展事業者：2社(名城酒造(株)、(株)アンジェリス)

調査・商談等対象事業者見込：210社(昨年実績より)

- ・調査項目は、購買動機、購買障壁、価格帯、色、大きさ、見た目、パッケージ  
商品選択時の優先項目、各商品に関する詳細な設問等

(2) 情報整理・分析・提供

- ①調査内容を経営指導員が分析し、当該支援事業所にフィードバック
- ②調査内容に基づいて、今後の海外展開や商品開発に関する意向等を確認。
- ③今後の展開に際して専門的な支援を必要とする場合は、中小企業診断士等の専門家派遣による連携した相談対応が叶う旨を説明した。

【当初の目標・実績】

	R7 年度	実績（見込含む）	達成率
① 新商品開発の調査対象事業者数	2 者	5 者	250%
② 新商品開発の調査対象者数	50 人	428 人	856%

【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	展示会出展や商品開発支援は、目標を大幅に上回る成果を収めています。特に対面とバーチャルを組み合わせた展示会や EC サイト活用は、販路開拓において価値ある取り組みです。今後は、活動を通じて得られたアンケート結果や知見を事業者にフィードバックし、商品改良や具体的な経営判断の支援に繋げていくことが期待されます。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%	B：達成率 70～89%	C：達成率 40～69%	D：達成率 1～39%	E：未着手 0%

### 3. 経営状況の分析に関すること

#### 【実施した事業内容】

(1) 日々の窓口・巡回指導に伴う事業所内の課題の把握と指導 (令和7年12月末現在)

令和7年度 巡回訪問件数	1,885
令和7年度 窓口相談件数	1,989
令和7年度 合計対応件数	3,874

※経営相談のみならず、税務・労務相談等の関連相談から経営相談に移り、経営状況分析に至ることも多々あるため、相談項目を問わず総数とした。

(2) マル経融資等に伴う財務状況の把握と指導 9件 (令和7年度12月末推薦実績より)

また10月31日、(株)日本政策金融公庫姫路支店において開催されたマル経連絡協議会において、日本政策金融公庫の取り組みを学び、マル経融資に関するグループディスカッションや各団体との意見交換を実施。

(3) 各種セミナーの開催により経営分析のスキルを身につけることで自社の経営状況を把握し今後の経営に活かすための一助とした。

(主なセミナー)

開催日	セミナー	受講人数
6/11	人材獲得セミナー・個別相談会	14名
7月	ひめじ創業塾	27名
7/23	生成AIを活用した業務効率化(DXセミナー)	13名
7/30	SNSを活用した販路拡大(DXセミナー)	12名
8/7	事業承継セミナー	16名
8/21	事業計画作成セミナー	9名
10/3	事業承継個別相談会	4名
11/19	人材獲得セミナー(反省会)・個別相談会	9名

(4) 専門家による個別相談事業(各種専門家派遣事業、専門家窓口相談事業等)

※令和7年度のべ17事業所(計画書作成・商品開発・経営革新・持続化・ものづくり等)

#### 【当初の目標・実績】

(令和7年12月末現在)

	R7年度目標	実績	達成率
① セミナー開催件数	3回	8回	266%
② 経営分析事業者数	10者	309者	3,090%

※セミナー参加は無くとも、個別での巡回・窓口相談対応にて補助金申請等のために経営分析を実施。

【事業評価】

事業評価	<input checked="" type="checkbox"/> A    B    C    D    E
コメント等	巡回相談やセミナー開催を通じて経営分析事業が進捗し、目標を大きく上回る実績を収めています。人材難など企業の主要課題を網羅した支援スタイルも定着しました。今後は現在の流れを維持しつつ、分析結果を具体的な事業計画策定やフォローアップに繋げ、金融機関とも連携しながら会員事業者の利用促進をより一層図ることが期待されます。
【評価目安】	A：達成率 90～100%    B：達成率 70～89%    C：達成率 40～69% D：達成率 1～39%    E：未着手 0%

## 4. 事業計画策定支援に関すること

### 【実施した事業内容】

#### (1) 創業・第二創業支援

当会管内は小規模事業者が年々廃業し、創業件数を上回っている。創業件数の増加により小規模事業者の減少を食い止めるため、姫路市の特定創業支援等事業として創業塾を開催した。セミナーでは参加者全員が開業計画書を作成し、必要に応じて専門家による個別相談を実施。

#### (2) 経営計画・経営革新計画作成セミナーの開催

	開催日	セミナー	受講人数
令和 7年度	6/11	人材獲得セミナー・個別相談会	14名
	7月	ひめじ創業塾	27名
	7/23	生成AIを活用した業務効率化(DXセミナー)	13名
	7/30	SNSを活用した販路拡大(DXセミナー)	12名
	8/7	事業承継セミナー	16名
	8/21	事業計画作成セミナー	9名
	10/3	事業承継個別相談会	4名

#### (3) 巡回・窓口支援等

マル経融資や確定申告、補助事業の相談時に経営分析を実施。事業計画の策定が可能な事業者については策定を推進した。

#### (4) 各種補助金及び認証制度申請からの事業計画策定

各種補助金等の承認・採択を目指し、経営分析を行った小規模事業者を対象に事業計画策定を支援した。

(各種補助金申請相談数及び申請件数 ※のべ数値)

(令和7年12月末現在)

補助金等名称	相談事業者数	のべ相談件数	のべ申請件数
小規模事業者持続化補助金	20	80	17
中小企業新事業進出補助金	4	24	3
事業承継・引継ぎ補助金	1	6	0
兵庫県起業家支援助成金	5	20	5
酒類業振興支援事業費補助金	1	6	1
ものづくり補助金	2	12	2
合計	33	148	28

申請件数を事業計画策定件数として計上。

【当初の目標・実績】

	R7 年度目標	実績	達成率
①DX推進セミナー	1回	2回	200%
②事業計画策定セミナー	1回	1回	100%
事業計画策定事業者数	5者	9者	180%
③創業塾	1回	1回	100%
事業計画策定事業者数	4者	27者	675%

【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	補助金申請や創業塾、セミナーを契機とした個別支援の流れが機能しており、事業計画策定数は目標を達成しています。特に創業分野が活況であり、DXや資金調達など多様なニーズへの伴走支援が着実に実施されました。今後は、策定した計画を事業者が実行できるよう丁寧なフォローアップを行い、実効性を高めていくことが期待されます。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%      B：達成率 70～89%      C：達成率 40～69% D：達成率 1～39%      E：未着手 0%				

## 5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

### 【実施した事業の内容】

#### (1) 支援プログラム作成と経営支援情報の共有

- ・システムを活用した経営支援情報のデータベース化とその活用

経営支援情報共有については、過年度来商工会のシステムを活用し、各種補助金申請や事業計画を内部共有かつアーカイブ化し、重複する市場データ・外部環境、補助事業計画等を有効活用できる仕組みを構築。また、令和元年から5箇年分の事業計画データ122件をシステムにアップロード・アーカイブ化し、検索機能の運用を開始した。

今年度も各種補助金申請データを追加。同様に全職員が各申請案件を回覧できるように仕組化した。これにより、必要な計画の情報を効率よく入手することが可能となり、支援ノウハウ、支援案件・申請案件の重複箇所等の流用・参考が叶う仕組みづくりにより商工会内でのDX推進を実現した。

- ・経営指導カルテの入力内容の統一と共有

今年度も、各職員が対応した経営支援情報を共有し、効率的・効果的な支援を図るとともに、職員の異動に伴う経営支援情報の引継ぎ等を円滑に図るために、日々の経営指導カルテの入力内容の統一を行った。加えて、入力した経営指導カルテを全職員に回覧することで、支援案件への協力体制の構築、効果的な連携に繋がった。

- ・生成AI活用

補助金申請等の支援ツールとして生成AIを導入し、活用マニュアルを整備し全職員が一定水準の計画書を迅速に作成できる環境を構築した。

作成時間の短縮により生じた余力を、支援者による「対話と傾聴」に重点配分した。その結果、相談者の潜在的な課題を明確化し、支援者独自の視点を反映した質の高い計画策定が可能となった。

あわせて、議事録作成や資料要約等の通常業務にもAIを横断的に適用し、組織全体の業務効率化と生産性向上を実現した。

#### (2) ブラッシュアップ

策定した事業計画書に応じて、経済状況や需要動向に合っているかを確認し、課題解決に繋がっている。専門的案件については、適宜専門家相談に繋がっており、各種補助金申請や経営革新申請などにもつなげている。

#### (3) フォローアップ・PDCAサイクルの実現

令和7年度も引続き、これまでの補助金申請事業者及び創業支援者を巡回訪問し、適宜専門家相談等に繋げるなどのフォローを行い、事業計画の見直しを実施した。

【目標及び実績】

	R7 年度目標	実績	達成率
フォローアップ対象事業者数	17 者	22 者	129%
頻度（延回数）	50 回	66 回	132%
売上増加事業者数	2 者	2 者	100%
利益率 3%以上増加の事業者数	1 者	1 者	100%

【事業評価】

事業評価	<input checked="" type="checkbox"/> A	B	C	D	E
コメント等	生成 AI の活用や経営指導カルテの統一により、組織としての支援基盤整備と業務効率化が進んでいます。その結果、フォローアップや売上目標において着実な成果を収めました。今後は、効率化で生み出した時間を「対話と傾聴」に充て、策定した計画の進捗管理や AI 活用の知見共有を通じた伴走支援を積み重ねていくことが期待されます。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%      B：達成率 70～89%      C：達成率 40～69% D：達成率 1～39%      E：未着手 0%				

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

### 【実施した事業の内容】

#### (1) 展示会出展事業 (BtoB)

##### ・バーチャル展示会 2025 の開催

開催期間：令和7年8月21日から令和7年12月31日（WEBサイト公開）

国際フロンティア産業メッセ出展：令和7年9月4日（木）、5日（金）

バーチャル展示会WEBサイト出展者数：71社（内、福崎町5社、市川町6社、神河町6社）

WEBサイトアクセス数：3,731件、商談申込件数：21件、成約件数：3件（R7.12月末現在）

##### (内容)

令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により対面型の展示会への参加や商談が難しい状況を鑑みて、新たな営業・販促活動策としてWebサイトを立ち上げ「バーチャル展示会」を開催した。

令和5年5月にコロナウイルスが5類感染症に指定され、対面の展示会にコロナ禍以前の客足や賑わいが戻ってきていることを受け、本年度は対面の展示会での製品PRとバーチャル展示会サイト上での事業者の情報発信、商談促進を掛け合わせることで事業効果を高めることを見込み、国際フロンティア産業メッセへの出展支援を行い、出展者の販路開拓につなげた。

国際フロンティア産業メッセ出展事業者：株式会社PEANUTS

##### ・地域産品掘り起こし事業

会員事業所の商品や製品の展示会出展を支援した。具体的内容は下記

#### 大阪インターナショナルギフトショー2025

(<https://www.giftshow.co.jp/osakagiftshow/67oigs/>)

開催日：令和7年9月18日（木）、19日（金）

会場：OMMビル（大阪・天満橋）

来場：11,788名（大阪インターナショナルギフトショー2025実績より）

出展事業者：2社（(株)香寺ハーブ・ガーデン、(有)戎水産）

調査・商談等対象事業者：350社（事業者からの聞き取りによる）

#### FOODSTYLE JAPAN<関西>2026 出展

FOODSTYLE JAPAN<関西>出展 (<https://foodstyle.jp/kansai/>)

開催日：令和8年1月28日（水）、29日（木）

会場：インテックス大阪1・2号館

来場見込：23,801名（FOODSTYLE Kansai2025実績より）

出展事業者：2社（名城酒造（株）、（株）アンジェリス）

調査・商談等対象事業者見込：210社（昨年実績より）

・販路開拓事業（BtoC）

①プレスリリース支援個別支援

兵庫県商工会連合会チーフアドバイザー（以下、CA）派遣制度を活用した。  
支援事業者数：3社（(株)下村酒造店、戎水産（有）お魚旬鮮便（同））  
のべ支援回数：4回

②DX推進セミナーの開催

生成AI（ChatGPT等）を活用した業務効率化、SNSを活用した販路拡大

開催日：令和7年7月23日（水）、7月30日（水）

会場：姫路市商工会香寺支所

講師：内藤 敏氏

出席者：のべ27名

7月23日のセミナーでは、生成AIをどのように活用するか理解を深めることを目的とし、企業の取り組み事例を交えながら講義を行った。また、7月30日のセミナーでは、お客様目線のSNSの投稿や、どのような投稿がお客様に響くのか理解を深め、実践に即した内容の講義を行った。

フォローアップとして、Googleビジネスプロフィールの活用およびDX推進に向け兵庫県商工会連合会のIT支援員制度を活用し、5社をのべ10回支援。

以下は個者支援から発展し、地域・他団体と連携、取り組んでいる販路開拓事例を列記

③ 海外向けの販路開拓支援

姫路市安富町に所在する株式会社下村酒造店は、国内のみならず海外からも高い評価を受けている。自社をハブとした観光誘客による地域経済の活性化に貢献するとともに、日本の伝統文化である日本酒の魅力を世界に発信していくことを目指している。そのため、昨年度は多言語対応のWEBサイトや自社の説明動画を制作、郷土資料の展示等を行い、観光客対応を備えた上で姫路市観光コンベンションビューローとの連携を強化した。

今年度は、酒蔵に人を呼び込むための取り組みとして、酒蔵の改装によるオープンファクトリー化を実現。モデルコースの設計も図り、その情報を姫路市観光コンベンションビューローはもとより、地域の観光関連会社へ発信した。

④ 企業間連携商品開発支援

株式会社下村酒造店とたべごと屋ゆかり（飲食店）は連携し、下村酒造の酒粕を活用した「特製粕汁」の商品化を開始した。下村酒造店のネームバリュー活用による集客効果と、副次的な宣伝効果が期待される取り組みである。プレスリリースを実施し、新聞掲載された。

招き猫専門店のローズカンパニーと合同会社中塚建築（工務店）は、商品コラボレーションを進めている。中塚建築から出る建築端材を、ローズカンパニーの招き猫躯体制作に利用する計画である。

【目標及び実績】

支援内容	R7 年度目標	実績	達成率
①「バーチャル展示会」出展事業者数	60 者	71 者	118%
成約件数	2 者	3 者	150%
②地域産品掘り起こし／調査数 ※展示会出展	10 者	5 者	50%
売上増加率／者	3%	3%	100%
③プレスリリース支援個別相談会参加事業者数	3 者	3 者	100%
成約件数	1 者	1 者	100%
④DX 推進セミナーの開催	1 回	2 回	200%
SNS 活用事業者	2 者	12 者	600%
売上増加率／者	2%	3%	150%
ネットショップの開設者数	2 者	2 者	100%
売上増加率／者	2%	3%	150%

【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	<p>展示会や DX・SNS 活用など多様な手法による販路開拓支援が展開され、地域経済に貢献しています。一部、外部環境の影響で未達の項目もありましたが、全体としては十分な実績を収めました。今後は、行政の補助金活用や企業間連携を推進しつつ、事業者の休業リスク等の状況に応じた無理のない支援方法を検討していくことが期待されます。</p>				
【評価目安】	<p>A：達成率 90～100%      B：達成率 70～89%      C：達成率 40～69% D：達成率 1～39%      E：未着手 0%</p>				

## 7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

### 【実施した事業の内容】

#### ①評価委員会の開催

当会の理事会と併設して、姫路市観光経済局長、兵庫県商工会連合会広域指導センター所長、外部有識者として中小企業診断士1名、但陽信用金庫香呂支店長及び西兵庫信用金庫夢前支店長、当会事務局長及び法定経営指導員各1名をメンバーとする「評価委員会」を年1回開催し、経営発達支援事業の進捗状況等について評価を行う。

#### ②評価結果の公表

評価委員会の評価結果は、役員会にフィードバックした上で、事業実施方針等に反映させるとともに、HPへ掲載（年1回）することを計画しており、本評価委員会終了後速やかに公表を行った。

### 【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	外部有識者による評価委員会の開催と結果公表の仕組みが適切に運用されており、目標通りに実施されました。事業の進捗や成果を客観的に評価し、次年度の検討材料とする体制が整っています。今後は、委員会で得られた具体的な意見や評価を日々の事業者支援に反映させ、事業内容の継続的な見直しと改善を図っていくことが期待されます。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%	B：達成率 70～89%	C：達成率 40～69%	D：達成率 1～39%	E：未着手 0%

## 8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

### 【実施した事業の内容】

外部講習会等の積極的活用

#### ① 兵庫県商工会連合会が主催する商工会役職員等研修会

経営指導員及び一般職員の支援能力の一層の向上のため、経験年数や職歴を考慮し、計画的に職員を派遣した。

(受講研修一覧・受講人数)

研修日	研修内容	受講人数
6月6日・7日	チーフコーディネーター研修	2名
6月25日	基礎的経改指導研修会(経営)	2名
8月27日・28日	ビジネスコーチング研修	2名
9月9日	金融審査委員等講習会	1名
9月26日	管理マネジメント研修会	2名
10月2日	商工会管理者研修	1名
10月29日	コンプライアンス研修	10名
11月5日	資質向上研修会	1名
11月28日	チーフコーディネーター研修	2名
12月10日	セルフマネジメント研修会	1名
12月2日・3日	令和7年度事業承継支援推進会議	2名
12月12日	中播磨地区商工会職員広域連携研修会	3名
令和8年		
1月21日・22日	チーフコーディネーター研修	2名
1月30日	中播磨職員税務研修会	5名

(オンデマンド研修)

研修内容	受講人数
人材不足対策支援研修	5名

#### ② 経営指導員等WEB研修システム

小規模事業者のニーズの高度化・専門化に対応、提案型支援スキルの取得のため、全国商工会連合会が運営する本研修システムを活用し支援ノウハウの習得を図った。

#### ③ 職員事例発表大会

本大会は、商工会の経営支援業務における優れた事例を発表・共有し、商工会組織全体の支援力向上を図ることを目的としている。参加職員は各地域の支援事例発表を通して、会員事業者の皆様への支援体制の強化、並びに支援力向上を図った。

研修日	研修内容	受講人数
6月7日	経営支援事例発表兵庫大会	10名

④ 中小企業大学校が主催する研修会

更に事業計画の策定件数の増加と、そのための支援能力の向上が指摘されているため、中小企業大学校が実施するセミナーへ毎年1人以上参加するように努めた。

研修日	研修内容	受講人数
8月19日から8月29日 9月29日から10月10日 (19日間)	税務・財務診断	1名

⑤ OJT 制度の導入

ひめじ創業塾の受講生に対するフォローアップとして、支援経験の豊富な経営指導員と、経験が浅い職員や支援業務に携わってこなかった一般職員が2人1組でチームを組成し、巡回指導や窓口相談の機会を活用してOJTを積極的に実施し、組織全体としての支援能力の向上を図った。

⑥ 職員会議の開催

支所の職員を含め全員が一堂に会し職員会議（月1回、年間12回）を開催。

業務に係る情報を共有することはもとより、職員が経営支援事例を発表し、そのノウハウや情報を共有した。担当外の業務についても見識を深めるとともに、意見交換等を行うことで、職員の支援能力の向上を図った。

⑦ データベース化

経営支援情報共有については、過年度来商工会のシステムを活用し、各種補助金申請や事業計画を内部共有かつアーカイブ化し、重複する市場データ・外部環境、補助事業計画等を有効活用できる仕組みを構築。また、令和元年から5箇年分の事業計画データ122件をシステムにアップロード・アーカイブ化し、検索機能の運用を開始した。

今年度も各種補助金申請データを追加。同様に全職員が各申請案件を回覧できるように仕組化した。これにより、必要な計画の情報を効率よく入手することが可能となり、支援ノウハウ、支援案件・申請案件の重複箇所等の流用・参考が叶う仕組みづくりにより商工会内のDX推進を実現した。

⑧ 経営指導カルテ入力統一化

今年度も、各職員が対応した経営支援情報を共有し、効率的・効果的な支援を図るとともに、職員の異動に伴う経営支援情報の引継ぎ等を円滑に図るために、日々の経営指導カルテの入力内容の統一を行った。加えて、入力した経営指導カルテを全職員が閲覧可能とすることで、支援案件への協力体制の構築、効果的な連携に繋げた。

⑨ 生成AI活用による生産性向上

補助金申請等の支援ツールとして生成AIを導入し、活用マニュアルを整備し全職員が一定水準の計画書を迅速に作成できる環境を構築した。

作成時間の短縮により生じた余力を、支援者による「対話と傾聴」に重点配分した。その結果、相談者の潜在的な課題を明確化し、支援者独自の視点を反映した質の高い計画策定が可能となった。

あわせて、議事録作成や資料要約等の通常業務にもAIを横断的に適用し、組織全体の業務効率化と生産性向上を実現した。

⑩ 関係機関等が開催する研修会

近畿経済局や兵庫県、金融機関や民間企業等が開催する下記研修会に参加した

研修日	研修内容	受講人数
4月15日	但陽信用金庫 希望の商い・ワクワク系入門講座	1名
9月10日・17日	兵庫県 階層別女性社員研修（管理職向け）	1名

【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	外部研修や生成AIの先進的な活用により、職員の資質向上と組織全体の業務効率化が着実に進んでいます。迅速な補助金申請支援などが実現し、確保された時間を対面支援の充実に繋げている点が高く評価されました。今後は育成されたスキルを日常業務で活かし、DXをさらに推進しながら、質の高い安定した支援体制を構築していくことが期待されます。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%		B：達成率 70～89%		C：達成率 40～69%
	D：達成率 1～39%		E：未着手 0%		

## 9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

### 【実施した事業の内容】

#### ① 経営改善貸付連絡協議会

令和7年10月31日、(株)日本政策金融公庫姫路支店管内の商工会や商工会議所等を対象に開催された経営改善貸付連絡協議会に職員が参加。

管内の小規模事業者の現状・経営環境、資金状況等について情報交換・収集を行い、広範囲の経済動向や需要動向を把握し、経営発達支援事業に活用して小規模事業者への支援につなげた。

#### ② 地域金融機関との連携

令和7年4月15日、但陽信用金庫主催の「希望の商い・ワクワク系入門講座」に職員が参加し、顧客への情報伝達と価値創造、リピート化につながる取組みについて学んだ。

セミナーの開催等の告知においては、管轄内金融機関に告知協力を要請するなど、小規模事業者支援をより効果的に実施した。

地域金融機関全体を介しての情報交換会は無いが、(株)日本政策金融公庫姫路支店とは10月31日に小規模事業者経営改善資金（マル経）連絡協議会及び11月5日に冬季一日金融相談会において、地域の経済や需要動向、金融動向等の情報を共有した。

また、但陽信用金庫香呂支店・溝口支店とは、年3回金融状況の情報交換を行った。

次年度以降も、地域の経済、金融動向等の情報を共有し地域の需要動向、支援ノウハウ等について有益な施策等について情報交換を行いたい。

#### ③ 中播磨地区の商工会との連携

令和7年12月12日、姫路市地場産業センターにて中播磨地区商工会職員を対象とした広域連携に係る研修会を実施した。研修では中小企業診断士の藤尾政明氏を講師に招き、今後の組織活性に役立てることを目的とし、広域連携や意欲高く働ける職場づくりについて講義をしていただいた。

また、前述のとおり「バーチャル展示会」では中播磨地区からも新規出展事業者が3社あり、国際フロンティア産業メッセには各商工会担当職員も参加し、会員事業所のフォローを行う等、連携した事業実施が叶った。

#### ④ 行政との情報交換

令和7年12月22日、姫路市役所10階第一会議室において、大前観光経済局長ならびに大山部長と姫路市商工会会長はじめ役職員6名による地域経済に関する懇談会を開催。地域商工業者支援について意見を交換し、双方にとって実りのある取組に向けた意識の醸成が図れた。

同日、姫路市議会議長の石堂議員を訪問し、意見交換ならびに情報提供が図った。

#### ⑤ 専門家・他の支援機関との情報交換

会員事業所への専門家派遣時には職員が同席し専門家と情報交換を行った。セミナー開催なども同様に情報交換を行っている。各種支援機関とも情報交換を行っている。

⑥ 姫路商業高校 PBL への協力

兵庫県立姫路商業高校が、生徒の課題解決能力育成と地元定着を目的とした PBL（課題解決型学習）を令和 7 年度より導入するにあたり、当会は立上げ協議より参画した。第一期では、参画企業 13 社（当会より 3 社）に対し、生徒たちの斬新なアイデアが提供され、企業からは非常に高い評価を得た。第二期にも 3 社が継続して参画した。令和 7 年 12 月 22 日に姫路商業高校体育館で行われた課題研究発表会には当会から職員 1 名が出席し講評を述べた。令和 8 年度以降も継続的な連携を推進している。

本取り組みは、市場調査、テストマーケティングやパッケージデザイン等の会員企業の課題解決が見込まれるのみならず、企業認知度向上に繋がることから、人手不足対策と連携させ、地元定着による人口減少対策に貢献できるものとする。

【令和 7 年度】

	専門家等連携事業	詳細指導	相談者 (のべ件数)
経営一般	情報発信支援員派遣	勤怠管理に係る IT 化、勤怠管理 IT 化からの DX 化	4
	IT 導入支援専門家派遣	SNS 活用、広報、コミュニティ運営、在庫管理、経理処理	5
	チーフアドバイザー派遣事業	プレスリリース、ファンビジネスに向けた広報戦略、商品開発、経営改善計画立案、酒類業振興支援事業費補助金	5
	事業引継ぎ支援センター 専門家派遣	事業承継	3
	事業環境変化対応型支援事業	小規模事業者持続化補助金、新事業進出補助金、起業家支援事業、経営力向上計画、事業継続力強化計画立案、就業規則整備、業務改善、労働環境整備、消費税相談、事業承継等	74

【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	行政や金融機関、教育機関等との広範な連携体制が構築されており、情報交換や専門家派遣を通じて効果的な支援が展開されています。特に高校との PBL 事業は、地域企業の認知度向上や地元定着に繋がる有意義な取り組みです。今後は、構築されたネットワークを維持しながら、収集した情報をより具体的な事業者支援や課題解決に活かしていくことが期待されます。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%	B：達成率 70～89%	C：達成率 40～69%	D：達成率 1～39%	E：未着手 0%

## 10. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

### 【実施した事業の内容】

#### (1) 銀の馬車道を活用した地域おこし

兵庫県中播磨県民センターと中播磨地区の商工会や行政等で構成する「銀の馬車道ネットワーク協議会」と連携し、地域の小規模事業者に地域資源や観光資源のPR活動を行い、地域経済の活性化に取り組んだ。具体的な実施内容は下記のとおり

#### ① 銀の馬車道沿線PR事業「観て食べて癒されて、中播磨」

ナレーション等も含めて、日本語版と英語版で日帰り入浴動画を作成し、外国人旅行者や在住者にも中播磨の魅力をPRすることを目的としている。具体的には、日本人とスリランカ人の女子学生モデルを起用し、姫路駅の観光案内所をスタートして癒しスポットである中播磨の日帰り入浴施設を巡る動画を撮影。併せて、PRポスターとパンフレットを作成した。QRコードから動画視聴が叶うように工夫し、昨年までのグルメ&ガイドも含んだ折りたたみ式の案内パンフレットとした。動画については、1月からYoutubeチャンネルを各商工会HPにリンクを貼り配信している。

#### (2) はりまもちこ倶楽部の支援

はりまもちこ倶楽部への支援として、商品開発並びに実現性に向けた取り組みについて伴走支援を行った。徐々に商品構成も充実してきており、一般にも販売が出来るよう、菓子製造業の許可を取得。店舗を借りて、自社で製造・販売が出来る体制を整備するものの、本格的な販売には至っていない。継続して支援を実施している。

具体的な支援内容は以下のとおり

実施日	内容
6月20日	・商品開発として「シフォンケーキ」をつくり、中播磨地区商工会女性部を招き試食会を実施。商品に対して感想ならびにアドバイスを得た。
10月29日	・商品開発として「かぼちゃパイ」をつくり、中播磨地区商工会女性部講習会で試食会を実施。商品に対して感想ならびにアドバイスを得た。

### 【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	「銀の馬車道」のPRや地域特産品への伴走支援により、地域振興が着実に進んでいます。今後はインバウンド需要を捉えたさらなる情報発信に加え、動画視聴数などの効果検証を適切に行うことが重要です。関係機関と連携し、残された課題を整理しながら、より実効性の高い地域活性化に取り組むことが期待されます。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%	B：達成率 70～89%	C：達成率 40～69%	D：達成率 1～39%	E：未着手 0%

### 次年度に向けての取組みについての総評

今年度は全ての項目で目標を大幅に上回る成果を収め、過去の課題も克服する極めて良好な実績となりました。本事業は従来業務への追加分として現場の負担は大きいものの、地域経済の好循環を生む不可欠な活動として定着しています。今後も、生成 AI 等の活用で事務効率化を図りつつ、浮いた時間を「対話と傾聴」を伴う伴走型支援に充てることで、より実効性の高い地域支援の継続が期待されます。